

## 【山形県西置賜郡小国町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1.1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」が示された。「第5次小国町総合計画」では、白い森の国を担う「人」づくりを指針とし、未来を創る子どもたちの育成のため、ICT環境の整備等を進めるとともに、ICT活用による教育の充実と推進に取り組んでいる。また、「小国町教育大綱」でも、本町の特徴かつ独創的な取り組みである「白い森おぐに保小中高一貫教育構想」を基本理念とし、情報活用能力と情報モラルを身につけた児童・生徒の育成を図り、郷土の自然や文化を愛し、国際社会に生きる人間の育成を目指している。

#### 2.GIGA第1期の総括

令和2年度に学習者及び指導者用端末整備と、校内外でも端末を使用した学習ができる通信環境を確保するためのネットワーク整備を行った。また、授業準備や機器の操作及び不具合対応等のサポートのためICT支援員を配置し、学習活動のサポートを充実させている。

1人1台端末を使用しての授業や家庭での活用は日常的になりつつあるが、学校、教職員間でスキルに多少の差が見受けられることから、さらに利活用を進めていくことで個別最適な学びや教員の業務負担軽減の実現につながるものと考えられる。

令和6年度末時点で導入から4年が経過する1人1台端末は、故障も多くなっているほか、デジタル教材の活用が進んでおり、校内ネットワーク環境の改善など今後も適切な機器更新を継続的に実施していく必要がある。

#### 3.1人1台端末の利活用方策

##### (1) 1人1台端末を積極的かつ効果的に活用するために

各校の教員がICT活用の目的を理解し、ICTを活用した指導力を向上させることが必要である。そのためICT活用に関する研修を計画的に実施するとともに、ICT活用をサポートするICT支援員を引き続き配置し、ICTを活用した授業等を教員がスムーズに行える環境を整えていく。

また、学習者用デジタル教科書や AI型デジタルドリル、授業支援ソフトウェア等を導入することで、校内及び家庭学習で1人1台端末を活用する機会を増やし、情報活用能力の育成に取り組む。

## (2)個別最適・協働的な学びの充実

1人1台端末を利活用し学習課題に取り組むことで、児童生徒一人ひとりの特性や理解度、学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。また、児童生徒が自分の考えを取りまとめ、発表や表現をする場合や、教職員と児童・生徒、児童・生徒同士がやり取りをする等の授業場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

## (3)学びの保障

端末の不具合や故障した場合は、予備機の運用や速やかな修繕対応により、1人1台の端末環境を維持する。

文部科学省の「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」に記載されているとおり、1人1台端末を活用したオンライン授業の実施など、個に応じて学びの幅を広げる学習環境を整備していく。